

【リモコンがふたつもついてくるテレビ 説明聞いて頭クラクラ】

東京 2020 五輪前に液晶テレビにガタが来てしまった。製造年月日は 2011 年 3 月。録画機能もついて重宝していたが経年劣化じゃ仕方ない。

ビックカメラに行くか近所の電気屋に行くか悩んだが、録画機器の接続も頼むのだからと、電気屋さんを選ぶ。

選んで大正解だった。

テレビを置くだけなら誰でもできるが、その後に延々と続くセッティングは生半可なものではなかった。

正確に計ったわけでないが、最新の液晶テレビは正確に言えばテレビ番組を見ることにも使える液晶モニターなのだった。インターネット、YOU TUBE の世界。音声入力で調べたいことを言えば、ネット情報が出てくる。

「何でもいいから知りたいことを言って、『ネット』と言ってください」と言われて

「橋幸夫、ネット」と言ったら、画面が切り替わっていろいろな歌の画像が出てきた。

テレビ広告が流れる WOWWOW とか NETFLIX とかを契約すれば TSUTAYA に借りに行く必要もなさそうな感じだ。

「TSUTAYA さんもレンタルから撤退の噂もありますよ」と聞かされて、納得する次第。

テレビのリモコンは 2 つあるのだが、ボタンが多すぎて機能を理解できない身には、簡単リモコンだけで足りるような気になった。

**最新のテレビはテレビだけじゃない 画面大きなパソコンもどき
シニアには簡単リモコン有りますと 言われてホッとする年になり
あれこれと使い方をならったが 言われたことをもう忘れてる**



【ガリヴァーがナンガサクに寄ったとは 教わりもせず暮らしてました】

「1700 年頃に出島に来たガイジンはダイか？ ワイは知っとっか？ オイは知っとっぞ」なんて知ったかぶりをする友人・知人は小中高校にはおらんやった（居なかった）。

先生とか親戚とか町内のどこにも、そんな貴重な情報を教えてくれる人もおらんばい（居ないです）。

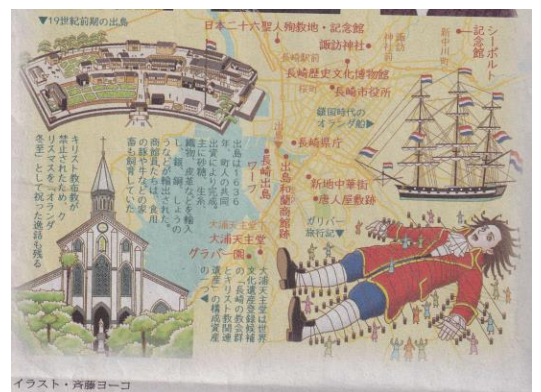
という訳で読売新聞 2015 年 11 月 1 日付日曜版の名言巡礼を切り取って保存していた。たまたま溜りすぎたフォルダーを整理してたらその切り抜きが出てきたので池上図書館で本を借りることにした。

「ガリヴァー旅行記」（スウィフト）の第三篇で、空飛ぶ島ラピュータからの英国への帰途、ガリヴァーは日本に寄ったのだ。「長くて辛い旅だったが、やっとのことでナンガサク（長崎）に着くことができた。

1709 年 6 月 9 日のことであつた」ちゃんと年月日まで書かれていた。

江戸に寄ったあとに、長崎に来たと書いてありました。

若い時に知っていたら人生が変わったなんてことは無かったかもしれないが、ちょっとしたトリビアクイズで知ったかぶりで楽しんだかも知れない。あーあ、残念で仕方なかばい。



**ガリヴァーはオランダ人になりすまし 踏絵はせずに帰国していた
長崎で何を食べたかガリヴァーの 日記ないのはとても残念**